



株式  
会社

鳥羽洋行

先端技術で社会と産業の進化を支える

第**65**期 報告書

2013年4月1日▶2014年3月31日

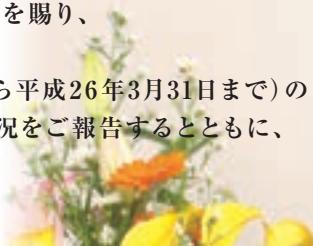
**JASDAQ**  
証券コード:7472

株主の皆様へ

## 最新の商品、 技術及びサービスの提供

株主の皆様には、平素から格別のご高配を賜り、  
ありがたく厚くお礼申し上げます。

ここに、当社第65期(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)の  
報告書をお届けするにあたり、当期の概況をご報告するとともに、  
ひとつごと挨拶申し上げます。



### 当期の概況

当事業年度(以下、「当期」という)の世界経済を概観しますと、米国におきましては量的金融緩和政策の効果により雇用環境がリーマンショック以前の水準に改善してきたことに伴い個人消費が回復し、米国経済は堅調さを取り戻してきております。また、欧州諸国におきましてもECB(欧州中央銀行)の金融政策が奏功し、欧州諸国内における財政問題が沈静化してきており、経済は不安定ながら改善傾向にあります。一方、新興国におきましては、これまで世界の経済成長の原動力となってきた中国も金融引き締めによる公共投資及び設備投資の減衰が見られ一桁台の成長率で推移する等、新興国全体に成長スピードが鈍化する傾向にあります。

わが国経済は、為替市場におきまして日銀による大胆な金融緩和実施以降は円安基調が継続して輸出関連企業の収益が好転するとともに、株式市場では企業収益の改善を背景に株価が上昇傾向になったことで個人消費も回復に向かいつつあり、当期後半には消費税率引き上げに伴う駆け込み需要も加わったため、国内経済は好転する兆しが見えてまいりました。しかし、自動車を中心とした輸出産業も量的な拡大にまで至っておらず、国内製造業における空洞化(製造拠点の海外移転)の流れも続いており、製造業における新規の設備投資需要は本格的な拡大基調には至っておりません。とりわけ当社に大きく関連するデジタル家電や半導体製造装置等の業界の設備投資に関しては、期を通して厳しい需要状況で推移いたしました。

このような経済環境の中で、当社は内外におけるハイブリッドカーを中心とするエコカーの普及に伴う電子化のための

設備投資需要が堅調な自動車及び車載部品に関連する得意先や、産業構造の変化に対応すべく国内での設備投資需要が将来的に伸びると期待される内需型の得意先に対する販売を積極的に展開してまいりました。また、新しい需要を獲得するための新規取扱商品の発掘や新規得意先の開拓にも注力するとともに、今後も製造業における国内設備投資の空洞化は継続することを想定し、主要得意先の海外での設備投資案件の獲得に努めてまいりました。管理面におきましても、得意先及び仕入先両面における能率的な事務処理作業を可能にするためのシステム関係の強化も図り、業務の効率化を推進してまいりました。

以上の結果、売上高は163億33百万円(前年同期比10.0%減)、営業利益は6億27百万円(前年同期比31.3%減)、経常利益は7億17百万円(前年同期比28.5%減)、当期純利益は4億29百万円(前年同期比26.6%減)となりました。

株主の皆様に対する配当方針につきましては、安定的な配当の継続をめざすとともに、株主の皆様に対する公明性を明確にした業績連動型の配当性向を基本と考えております。当期の期末配当金につきましては、今後の事業展開などを勘案し、前期と同様に1株につき50円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年6月

代表取締役社長 三浦 直行

## 取扱商品実績

## 部門別概況

## 制御機器

生産工場の構成には欠かせない

制御機器は、空気圧機器、電子センサー、圧力センサー、流体継ぎ手、真空機器、緩衝材等で構成されており、主としてデジタル機器、半導体・液晶製造装置、基板実装機、自動車・車載部品等を製造する得意先へ販売しております。

当期におきましては、デジタル機器関連の得意先からの空気圧機器等の需要は堅調でありましたが、当期後半から回復を見込んでいた半導体及び半導体製造装置に関連する得意先の需要が伸びなかったこと等により、制御機器全体の売上高は前期をやや下回る61億51百万円（前年同期比2.8%減）となりました。

## FA機器

工場の自動化・コストダウンを実現

FA機器は、産業用ロボット、自動組立機、表面実装システム、レーザー加工機、精密塗布装置等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、OA機器、医療機器等を製造する得意先へ販売しております。

当期におきましては、自動車・車載部品関連の得意先からの直動システムや洗浄装置等の需要は好調でありましたが、前期において産業用ロボット、ファイバーレーザー溶接機及びレーザーはんだ付けロボット等の需要が好調でありましたスマートフォン関連の得意先の需要が大幅に減少したこと等により、FA機器全体の売上高は前期を大幅に下回る70億97百万円（前年同期比22.4%減）となりました。

## 産業機器

生産組立て作業に使用されている

産業機器は、電動ドライバー、アルミフレーム、無人搬送車、コンベア、揚重機、環境システム等で構成されており、主としてデジタル機器、自動車・車載部品、医療機器、精密機器等を製造する得意先へ販売しております。

当期におきましては、半導体関連の得意先からのアルミフレーム需要や包装機械関連の得意先からの搬送システム需要も好調であったことに加えて、前期から取り扱いを開始したろ過フィルターの売上が当期に入って本格的に寄与したこと等により、産業機器全体の売上高は前期を大幅に上回る30億84百万円（前年同期比15.2%増）となりました。

なお、当期後半におきましては消費税率引き上げに伴う駆け込み需要もあり、電動ドライバーの需要も好調でありました。

## 売上高

当期

平成26年3月期



前期

平成25年3月期



( )内は構成比

## 「NEXTAGE」

(川田工業株式会社)

次世代の産業用ロボットです。

ヒトと共存する環境で作業することを目標にデザインされたヒューマノイドロボットです。可動軸が80W以下の省出力にしているため、ヒトが近くにいるような環境でも作業が可能となります。



業績の推移

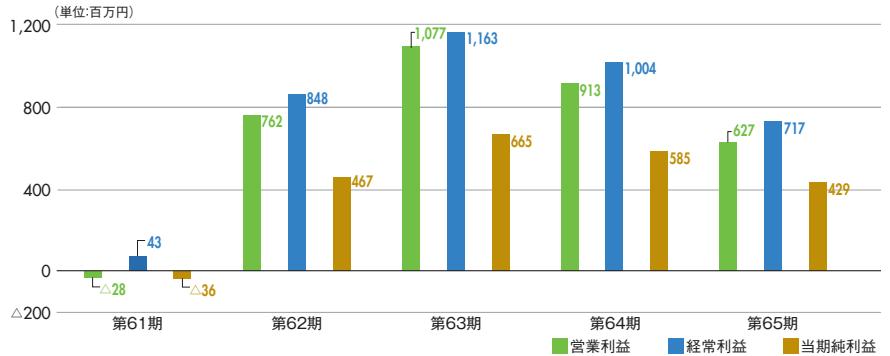
売上高 **163.33** 億円

売上高



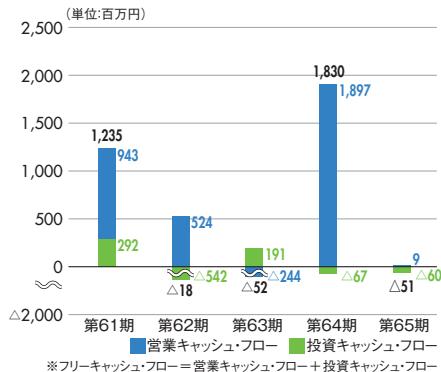
営業利益 **6.27** 億円 経常利益 **7.17** 億円 当期純利益 **4.29** 億円

営業利益/経常利益/当期純利益



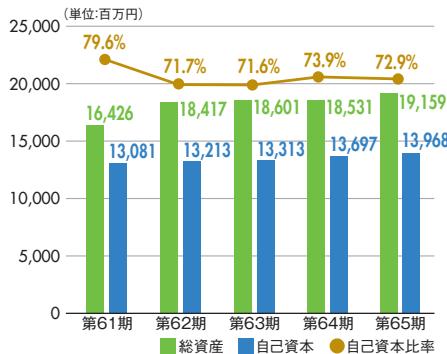
フリーキャッシュ・フロー\*  
キャッシュ・フロー **△0.51** 億円

営業キャッシュ・フロー/投資キャッシュ・フロー/フリーキャッシュ・フロー



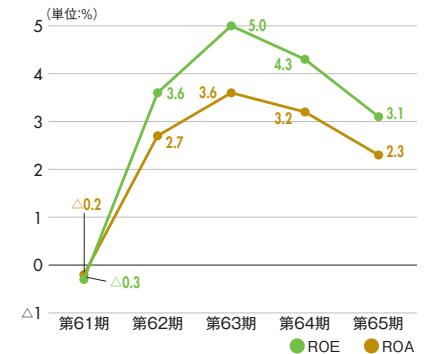
総資産  
資産 **191.59** 億円

総資産/自己資本/自己資本比率



ROE ROA  
利益率 **3.1** % **2.3** %

ROE/ROA



# 財務諸表

## 貸借対照表

(単位: 千円)

科目	当期 (平成26年3月31日現在)	前期 (平成25年3月31日現在)
<b>資産の部</b>		
流動資産	14,264,920	13,955,972
固定資産	4,894,510	4,575,639
有形固定資産	1,979,190	2,020,427
無形固定資産	96,368	12,371
投資その他の資産	2,818,950	2,542,839
資産合計	19,159,430	18,531,611

科目	当期 (平成26年3月31日現在)	前期 (平成25年3月31日現在)
<b>負債の部</b>		
流動負債	4,964,811	4,644,387
固定負債	225,882	189,337
負債合計	5,190,693	4,833,725
<b>純資産の部</b>		
株主資本	13,791,734	13,600,022
評価・換算差額等	177,001	97,864
その他有価証券評価差額金	177,001	97,864
純資産合計	13,968,736	13,697,886
負債及び純資産合計	19,159,430	18,531,611

## 損益計算書

(単位: 千円)

科目	当期 (平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで)	前期 (平成24年4月1日から 平成25年3月31日まで)
売上高	16,333,857	18,151,073
売上原価	13,895,353	15,390,298
売上総利益	2,438,504	2,760,775
販売費及び一般管理費	1,811,021	1,846,901
営業利益	627,483	913,874
営業外収益	95,873	93,501
営業外費用	5,498	3,222
経常利益	717,858	1,004,153
特別利益	2,482	1,702
税引前当期純利益	720,341	1,005,855
法人税、住民税及び事業税	297,300	396,900
法人税等調整額	△6,282	23,691
当期純利益	429,324	585,264

# 会社情報

## 会社概要

社名	株式会社 鳥羽洋行(英文表記 TOBA,INC.)
本社	東京都文京区水道二丁目8番6号
設立	昭和24年12月14日(創業：明治39年9月15日)
資本金	11億4,800万円
事業内容	制御機器、産業用ロボット、計測計装機器、コンピューター、電子機器、搬送機器、建設・管工機器、ファスナー、環境整備機器、機械工具、工作機械、理化学機器、化学工業薬品類等の販売および輸出入。 上記に関する生産設備効率化のためのコンサルタント。 機械工具器具とその部品類の加工販売および輸出入。 古物売買業。

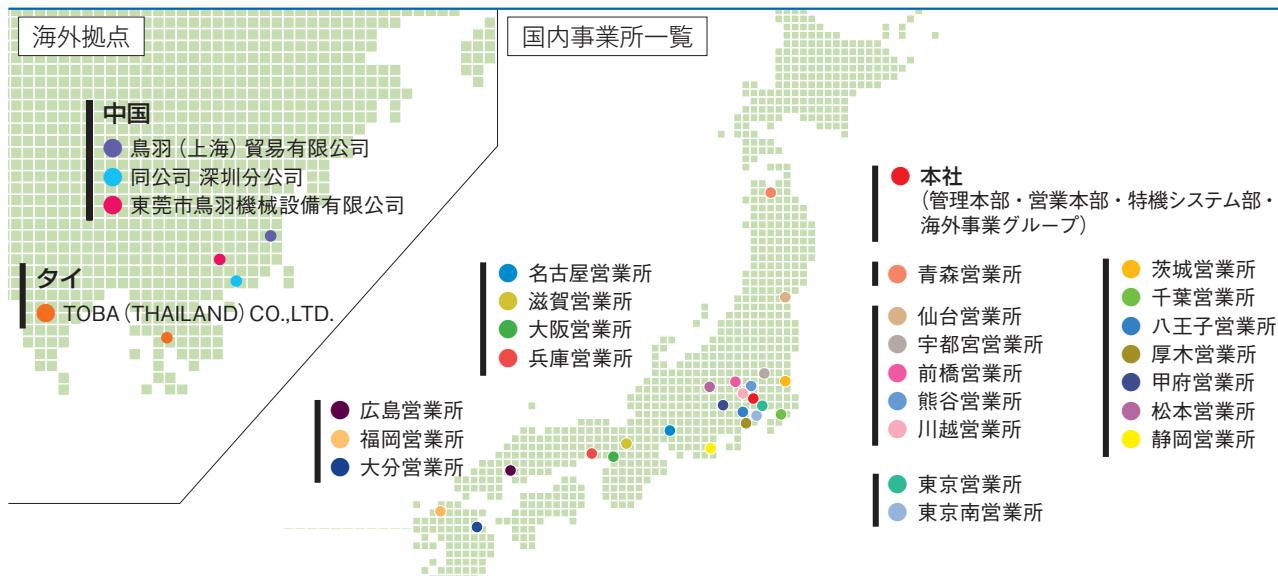
従業員数 191名(男性：137名 女性：54名)(平成26年3月31日現在)

(注) 従業員数には、他社への出向者及び嘱託社員を含んでおりません。

## 役員 (平成26年6月13日現在)

代表取締役社長	三浦 直行
取締役	遠藤 稔
取締役	鳥羽 重良
取締役	松永 健一
取締役	園家 秀幸
取締役	尾関 真一郎
常勤監査役	大島 伸雄
監査役	廣瀬 勝一
監査役	森 真一
監査役	早崎 信

## 営業ネットワーク (平成26年4月1日現在)



# 株 式 情 報

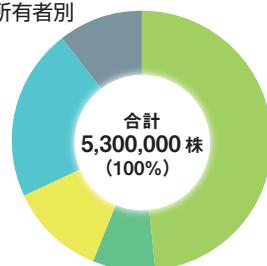
(平成26年3月31日現在)

## 株式数及び株主数

発行可能株式総数	20,000,000 株
発行済株式総数	5,300,000 株
株主数	2,348 名

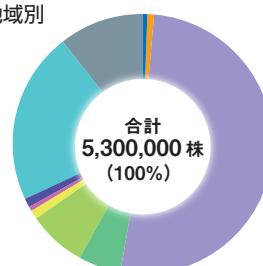
## 株式数分布状況

所有者別



個人・その他	2,565,738株 (48.41%)
金融機関	418,900株 (7.90%)
その他国内法人	632,401株 (11.93%)
外国人	1,127,700株 (21.27%)
証券会社	5,014株 (0.09%)
自己株式	550,247株 (10.38%)

地域別



北海道	4,405株 (0.08%)	中国地方	20,202株 (0.38%)
東北地方	19,806株 (0.37%)	四国地方	11,113株 (0.20%)
関東地方	2,860,619株 (53.97%)	九州・沖縄地方	35,881株 (0.67%)
中部地方	277,429株 (5.23%)	国外	1,129,200株 (21.30%)
近畿地方	391,098株 (7.37%)	自己株式	550,247株 (10.38%)

## I R 情 報

「日経IRフェア  
2013」  
(平成25年8月  
30～31日実施)



[大和インベスター・リレーションズ(株)コーナー]  
出展状況

### 当期のIR活動実施状況

- 平成25年5月29日  
2013年3月期 決算説明会(アナリスト向け)実施
- 平成25年8月30～31日  
「日経IRフェア2013」[大和インベスター・リレーションズ(株)コーナー] 出展(東京にて)
- 平成25年11月28日  
2014年3月期 中間決算説明会(アナリスト向け)実施
- 平成25年12月14日  
個人投資家向け会社説明会実施(大阪にて)
- 平成26年3月1日  
「株主優待フェスタ」\*出展  
※主催：大和インベスター・リレーションズ株式会社

# 株 主 メ モ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	6月
基準日	3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
配当金受領株主確定日	3月31日 中間配当を行う場合は、9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 [電話照会先]	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル)
取次事務	三井住友信託銀行株式会社 本店及び全国各支店
単元株式数	100株
公告方法	電子公告により行います。 ( <a href="http://www.toba.co.jp/">http://www.toba.co.jp/</a> ) ただし、やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。

## 株主優待制度のお知らせ

制度の内容は、下記のとおりであります。

所有株式区分	1,000株以上	100株以上1,000株未満
	オリジナル・クオカード 3,000円相当を進呈 	オリジナル・クオカード 1,000円相当を進呈 
	継続保有3年以上	
	オリジナル・クオカード 6,000円相当を進呈	オリジナル・クオカード 2,000円相当を進呈

(注) 継続保有3年以上の確認にあたっては、平成25年3月末日以降、毎年3月末日の株主名簿に同一の株主番号で、連続して4回以上記載または記録された株主様を対象とさせていただきます。

## 住所変更、単元未満株式の 買取等のお申し出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。  
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

## 「配当金計算書」について

配当金お支払いの際にご送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付資料としてご使用いただくことができます。

ただし、株式数比例配分方式をご選択いただいている株主様につきましては、源泉徴収税額の計算は証券会社等にて行われます。確定申告を行う際の添付資料につきましては、お取引の証券会社等にご確認をお願いいたします。

なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主様につきましても、配当金のお支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。確定申告をなされる株主様は大切に保管ください。



株式会社 **鳥羽洋行**

〒112-0005 東京都文京区水道二丁目8番6号 ☎ (03) 3944-4031  
<http://www.toba.co.jp/>